

## 眼窩底破裂骨折

眼窩は頬骨、上顎骨、涙骨、篩骨、前頭骨、口蓋骨、蝶形骨で構成される。眼窩上縁は前頭骨、下縁は上顎骨で形成され、これらは比較的丈夫な骨で骨折を起こしにくいですが、眼窩底は骨の厚みが薄く、拳やボールが当たるなどの外傷で眼球が受けた圧力の伝搬で容易に骨折する。これを眼窩底破裂骨折といい。眼窩内側と眼窩底に多い。

### ■ 発生機序

ボールやパンチなどによる**眼球の直接打撃により受けた眼窩内の圧力の波及**による。

### ■ 症状および注意点

- (1) 眼窩底破裂骨折では、一般に患側の眼球が陥凹し、眼窩内出血や浮腫による瞼の腫脹によって眼瞼が狭小化する。**眼球運動障害では眼球の上転障害がみられ、これに伴う複視や視野障害がみられる**。眼窩下神経領域の感覚障害により頬から上嘴唇にシビレを感じる。
- (2) 診断には顔面の単純X線撮影の他、頭部CT、三次元CT、MRIによる画像診断が必要である。

### ■ 応急措置

この骨折が疑われる場合は頭蓋骨骨折として処置を行い、早急に専門医に委ねる必要がある。

### ■ 合併症

- (1) 脳震盪
- (2) 脳挫傷
- (3) 眼窩下神経障害
- (4) 視神経障害